

AXIS Site Designer

ユーザーマニュアル

AXIS Site Designer

目次

AXIS Site Designer について	3
検討事項	4
Axis Site Designer の使用開始	5
My Axis アカウントを登録する	5
プロジェクトを作成する	5
プロジェクトに装置を追加する	6
録画デバイスとネットワークデバイスを追加する	7
プロジェクトの管理	8
プロジェクトを複製する	8
プロジェクトをエクスポートする	8
プロジェクトをインポートする	9
2つのプロジェクトを統合する	9
プロジェクトをアーカイブする	9
マップでの作業	10
アクセサリを追加する	10
アプリケーションの追加	11
システムアクセサリを追加する	11
その他の項目を追加する	11
シナリオとスケジュールの管理	12
新しいシナリオを作成する	12
シナリオの編集	12
新しいデフォルトシナリオを設定する	13
シナリオをコピーする	14
新しいスケジュールを作成する	15
スケジュールの編集	15
Zipstreamとストレージ時間設定の定義	16
シナリオまたはスケジュールを削除する	17
レポートとドキュメントの管理	19
販売見積もりを作成する	19
部品表を作成する	19
電力および帯域幅レポートの作成	19
設置レポートを作成する	20
システム提案書の作成	20
ドキュメントのダウンロード	20
詳細情報	22
ローカルプロジェクト	22
シナリオについて	22
トラブルシューティング	23

AXIS Site Designer

AXIS Site Designerについて

AXIS Site Designerについて

Axis SiteDesignerを使用すると、ニーズに合ったシステムを効率的に計画および設計できます。このツールを使用して、適切な製品を見つけ、サイトの地図やフロアプランに配置し、その範囲を視覚化します。選択した内容に基づいて、ツールは電力、帯域幅、ストレージの概算を行い、適切な録画ソリューションとネットワークソリューションを提案します。最後に、販売見積書の作成、包括的な部品表の作成、サイトメモや推奨事項などの貴重な情報を設置担当者と共有することができます。

このツールの詳しい内容をご覧いただくには、axis.com/support/tools/axis-site-designerに移動し、AXIS SiteDesignerを起動してください。

AXIS Site Designer

検討事項

検討事項

ブラウザサポート

AXIS SiteDesignerはウェブアプリケーションであり、ほとんどの一般的なウェブブラウザの最新バージョンに対応しています。Windows、macOS、さらにほとんどのタブレットデバイスからアクセスすることができます。このツールは携帯電話には対応していません。

データストレージ

Axis SiteDesignerで作成したプロジェクトは、ブラウザのローカルストレージを使用して、コンピューターまたはタブレットにローカルに保存されます。各ブラウザには独自のストレージがあるため、複数のブラウザで作業している場合、プロジェクトのリストが異なる可能性があることに留意してください。

サインインして作業を保存する

Axis SiteDesignerで作業する際は、My Axisにサインインし、プロジェクトが保存されていることを確認することをお勧めします。サインインすると、複数のデバイスやブラウザからプロジェクトで作業することもできます。

オフライン作業

Axis SiteDesignerでは、ブラウザからいつでもオフラインで作業できます。オンラインに戻ると、プロジェクトはAxis SiteDesignerのサーバーと同期化されます。オフラインでのみ作業する場合は、ローカルでのみ利用可能なプロジェクトを作成できます。詳細については、22ページローカルプロジェクトを参照してください。

AXIS Site Designer

Axis Site Designerの使用開始

Axis Site Designerの使用開始

Axis SiteDesignerでプロジェクトを素早く開始するには、以下の手順をしたがうことをお勧めします：


1. 5 ページMy Axisアカウントを登録する
2. 5 ページプロジェクトを作成する
3. 6 ページプロジェクトに装置を追加する
4. 7 ページ録画デバイスとネットワークデバイスを追加する
5. 販売見積書や部品表などのレポートを作成します。詳細については、19ページ、レポートとドキュメントの管理を参照してください。

My Axisアカウントを登録する


axis.com/my-axis/loginでMy Axisアカウントを登録します。

My Axisアカウントの安全性を高めるため、多要素認証 (MFA) を有効にしてください。MFAは、ユーザーの身元確認のために別の認証レイヤーを追加するセキュリティシステムです。

MFAを有効にするには:


1. axis.com/my-axis/loginに移動します。
2. My Axisの認証情報を使用してログインします。
3.  に移動し、[Account settings (アカウント設定)] を選択します。
4. [Security settings (セキュリティ設定)] をクリックします。
5. [Handle your 2-factor authentication (2要素認証の処理)] をクリックします。
6. My Axisの認証情報を入力します。
7. 認証方法として [Authenticator App (TOTP) (認証アプリ(TOTP))] または [Email (電子メール)] のいずれかを選択し、画面の指示に従います。

プロジェクトを作成する

1. Axis SiteDesignerで、プロジェクトを追加をクリックします。
プロジェクトを同期して保存できるようにするには、マイプロジェクトページでプロジェクトを作成します。
2. プロジェクトのオーバービューに、プロジェクトの名前、プロジェクトの対象者、メモなどの詳細を入力します。
3.  ロケーションをクリックして、サイトのロケーションを設定します。

注

プロジェクトが設置される国または地域で、正しい国または地域を選択してください。このフィールドは、見積書や部品表に追加される製品番号に影響します。

4.  設定をクリックして、設置高さを設定し、希望する地域単位と温度スケールを選択し、電力計算の基準となるものを選択します。

AXIS Site Designer

Axis Site Designerの使用開始

5. プロジェクトのシナリオを変更または新規追加するには、12ページ、シナリオとスケジュールの管理を参照ください。
シナリオ設定は、プロジェクトのカメラに必要なストレージと帯域幅の概算に役立ちます。
6. カメラやその他のデバイスをプロジェクトに追加するには、マップページまたはデバイスページに移動します。詳細については、6ページプロジェクトに装置を追加するを参照してください。


プロジェクトに装置を追加する

プロジェクトにデバイスを追加するには、2通りの方法があります。フロアプランがある場合は、ツールのマップ表示でインポートし、プランに直接デバイスを追加することをお勧めします。必要なすべてのデバイスをリストに追加し、後でフロアプランに追加することもできます。


マップ表示でのデバイスの追加

マップ表示でデバイスを追加するには、まずフロアプランをアップロードし、そのフロアプランに直接デバイスを追加します。

フロアプランの追加:

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. マップページに移動します。
3.  をクリックしてファイルを選択し、アップロードします。
Axis SiteDesignerは、最大サイズ10 MBのPNG、JPG、JPEG、PDFファイルのアップロードをサポートしています。
4. 名前を入力し、フロアプランの追加をクリックします。
5. フロアプランの縮尺を設定します。

フロアプランにデバイスを追加する :

6. マップの右側にあるデバイスメニューで、追加するデバイスタイプのタブに移動します。
この手順では、カメラタブを例に説明します。
7. 追加するカメラが決まっている場合は、カメラをクリックし、ドロップダウンリストからモデルを選択します。
8. カメラのアイコンをクリックし、マップにドラッグします。
カメラモデルを後で選択する場合は、 をクリックして、一般的なカメラをマップに配置します。
9. カメラをクリックして追加し、設定を編集します。例えば、カメラをクリックしてドラッグして移動したり、アンカーポイントをクリックして視野角やカバーエリアを調整したり、左側のメニューに移動して設定を追加・編集したりすることができます。

注

追加したカメラにはデフォルトのシナリオが割り当てられます。シナリオの詳細については、22ページシナリオについてを参照してください。

地図表示で利用できるコントロールボタンの詳細については、10ページマップでの作業を参照してください。

デバイスをリストに追加する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。

AXIS Site Designer

Axis Site Designerの使用開始

2. [Devices (デバイス)] ページに移動します。
3. **デバイスを追加**をクリックして、デバイスセクターに移動します。
追加するデバイス名を把握している場合は、**デバイスをクイック追加**をクリックして直接追加できます。
4. 右上のメニューから追加するデバイスのタイプを選択します：**カメラ**、**F/FAシリーズ**、**エンコーダ...**
5. フィルタと設定を使用して、サイトの要件を定義します。
6. **おすすめの製品**の一覧、または**一致する製品**の一覧からモデルを選択します。

注

- デバイスの仕様を確認するには、**↓ データシート**をクリックして、デバイスのデータシートをダウンロードしてください。
 - 製造中止のデバイスを適合製品リストに含めるには、**製造中止のデバイスを含む**に切り替えます。
7. **追加**をクリックし、デバイスをプロジェクトに追加します。
モデルを後で追加する場合は、**後にモデルを選択する**を選択し、**追加**をクリックします。指定した要件が保存されます。
 8. デバイスをさらに追加するには、この手順を繰り返します。

注

追加したカメラにはデフォルトのシナリオが割り当てられます。シナリオの詳細については、[22ページシナリオについて](#)を参照してください。

録画デバイスとネットワークデバイスを追加する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. [Recording (録画)] に移動します。
3. **ソリューションを選択する** で、希望のベンダーを選択します。
4. AxisまたはGenetecを選択すると、プロジェクトの概算要件に基づいて、録画、ストレージ、電源の推奨ソリューションが提供されます。ソリューションをクリックして選択します。
5. 独自のソリューションを設計するには、サーバー、端末、スイッチ、ライセンスのリストからデバイスを選択して追加します。

オーバービューは、選択したデバイスがプロジェクトの推定要件を満たしているかどうか、またはデバイスを追加する必要があるかどうかを示します。

選択したソリューションやデバイスは、利用可能なライセンス、サーバー容量、ストレージオプション、利用可能なポートやPoEの仕様に関する情報とともにプロジェクトに追加されます。


AXIS Site Designer

プロジェクトの管理

プロジェクトの管理

プロジェクトを複製する

保存時間を短縮するために、新規プロジェクトをゼロから作成する代わりに、既存のプロジェクトを複製することができます。

1. Axis SiteDesignerのプロジェクトリストに移動します。
2.  をクリックして、複製するプロジェクトのドロップダウンメニューを開きます。
3. **複製** をクリックします。
4. 複製したプロジェクトの新しい名前を入力します。

プロジェクトをエクスポートする


AXIS Site Designerプロジェクトをエクスポートして、バックアップや共有を行ったり、プロジェクト設定をVMSにインポートしたりできます。

プロジェクトをファイルとしてエクスポートする

バックアップを作成したり、プロジェクトを他のユーザーと共有したりするには、プロジェクトをファイルとしてエクスポートします。一度に1つのプロジェクトをエクスポートすることも、複数のプロジェクトを同時にエクスポートすることもできます。

1. Axis SiteDesignerのプロジェクトリストに移動します。

1つのプロジェクトをエクスポート：

2.  をクリックして、エクスポートするプロジェクトのドロップダウンメニューを開きます。
3. **プロジェクトをエクスポート** をクリックします。
4. **プロジェクトファイルをダウンロード**


1つまたは複数のプロジェクトをエクスポート：

5. エクスポートするプロジェクトにチェックを入れて選択します。
6. **[エクスポート]** をクリックします。

プロジェクトは **.asidx** プロジェクトファイルとしてエクスポートされ、コンピューターの **ダウンロード** フォルダで利用できるようになります。

プロジェクト設定をVMSにエクスポート

プロジェクトが完了したら、AXIS Site Designer からプロジェクト設定をエクスポートし、AXIS Optimizer を使用して AXIS Camera Station または Milestone Xprotect にインポートできます。

1. Axis SiteDesignerのプロジェクトリストに移動します。
2. エクスポートするプロジェクトを選択します。
3.  をクリックして、エクスポートするプロジェクトのドロップダウンメニューを開きます。
4. **プロジェクトをエクスポート** をクリックします。

AXIS Site Designer

プロジェクトの管理

5. VMSがインターネットに接続されている場合は、**コードの生成**をクリックして、設定のスナップショットをオンラインで作成します。設定をインポートするには、AXIS CameraStationまたはAXIS Optimizerにコードを入力します。
6. VMSがオフラインで動作している場合は、**設定ファイルのダウンロード**をクリックし、ファイルをAXIS Camera Station または AXIS Optimizerにインポートします。

プロジェクトをインポートする

1. Axis SiteDesignerで、**プロジェクトをインポート**をクリックします。
2. インポートするプロジェクトファイルを選択します。

注

AXIS SiteDesignerプロジェクトのファイルエンドは、新しいプロジェクトでは**.asdp**、古いプロジェクトでは**.asdp**です。

インポートが完了すると、プロジェクトはリストの一番上に表示されます。

2つのプロジェクトを統合する

既存のプロジェクトを別のプロジェクトにインポートすることで、2つのプロジェクトを1つに統合することができます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューで、**プロジェクトからインポート**をクリックします。

注

プロジェクトを別のプロジェクトにインポートすると、元に戻すことはできません。このため、オプション**インポートする前にこのプロジェクトをバックアップする**を選択することが推奨されています。

3. 既存のプロジェクトファイルをインポートする場合は、**ファイルを選択**をクリックします。
4. 現在のプロジェクトリストからプロジェクトをインポートする場合は、**プロジェクトの選択**をクリックします。


インポートが完了したら、統合したプロジェクトで作業を始めることができます。

プロジェクトをアーカイブする

プロジェクトのリストが長い場合や、読み込みに時間のかかる大規模なプロジェクトが多数ある場合は、それらをアーカイブできます。一度に1つのプロジェクトをアーカイブすることも、複数のプロジェクトを同時にアーカイブすることもできます。

1. Axis SiteDesignerのプロジェクトリストに移動します。

1つのプロジェクトをアーカイブする：

2.  をクリックして、アーカイブするプロジェクトのドロップダウンメニューを開きます。
3. **アーカイブ**をクリックします。

1つまたは複数のプロジェクトをアーカイブする：

4. アーカイブするプロジェクトにチェックを入れて選択します。
5. **アーカイブ**をクリックします。

AXIS Site Designer

プロジェクトの管理

アーカイブされたプロジェクトを表示または非表示にするには、**アーカイブしたプロジェクトを表示する**に切り替えます。



















マップでの作業

マップページでは、マップやフロアプランにデバイスを追加し、そのカバー範囲を視覚化し、マップにフィルタやブロッカーを追加することができます。

注


フロアプランのファイル形式は、PNG、JPG、JPEF、PDFに対応しています。1つのフロアプランの最大ファイルサイズは10 MBです。

マップやフロアプランで作業する場合は、以下のコントロールボタンを使用します：

 : クリックして新しいフロアプランをアップロードします。  : クリックすると、マップやフロアプランの使用方法に関するビデオが表示され、使用可能なキーボードショートカットの詳細を確認できます。  : クリックするとGoogleマップで新規マップロケーションを追加できます。 **マップ**タブで使用可能です。  : クリックすると、マップ内のフロアプランの不透明度を調整できます。 **マップ**タブにフロアプランを追加した場合に利用できます。  **マップに追加**: クリックすると、フロアプランがマップに追加されます。フロアプランをアップロードすると利用できます。  **設定**: クリックすると、フロアプランの設定を編集できます（例えば、名称の変更や縮尺の編集など）。フロアプランをアップロードすると利用できます。  : クリックすると、マップまたはフロアプランにフィルターが追加されます。たとえば、デバイスの色を選択し、表示または非表示にする情報の種類を選択します。  : クリックするとマップまたはフロアプランが拡大表示されます。  : クリックするとマップまたはフロアプランが縮小表示されます。  : クリックして拡大縮小して調整します。  : クリックすると、マップまたはフロアプランにブロッカーの描画が開始されます。ブロッカーは、壁や通路など、シーン内の固体オブジェクトを表します。  : クリックするとブロッカーを編集できます。  : クリックするとブロッカーを削除できます。   : クリックすると測定ツールが切り替わります。たとえば、ケーブル管理を容易にするために、マップやフロアプランで距離を測定できます。  **DO RI**  **NO RI** : クリックすると、マップまたはフロアプラン内の DORI ピクセルゾーンが切り替わります。  : クリックすると、マップまたはフロアプランのコピーを印刷できます。

デバイスをマップに追加する方法の詳細情報は、6 ページ**マップ表示でのデバイスの追加**を参照ください。

アクセサリーを追加する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **デバイス** または **マップ** ページに移動し、アクセサリーを追加するデバイスを選択します。
3. **アクセサリー** タブを開くには、 をクリックします。
4. デバイスの配置を選択します。


屋内使用のみに推奨されるマウントを除外するには、**屋外** フィルターをオンにしてください。

AXIS Site Designer

プロジェクトの管理

5. AXIS Site Designer は、互換性のあるプライマリ マウントと、必要に応じて追加のマウント アクセサリを提案します。代替方法については、プライマリマウントまたはマウントアクセサリをクリックしてください。
6. デバイスまたはマウントの追加アクセサリを選択するには、**+ アクセサリ**をクリックします。

アプリケーションの追加

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **デバイス** または **マップ** ページに移動し、アプリケーションを追加するデバイスを選択します。
3. **アプリケーション** タブを開くには、 をクリックします。
4. 一覧から1つ以上の互換性のある分析アプリケーションを選択します。

注

含むとマークされているアプリケーションは、プリインストールまたはダウンロードにより、追加料金なしで利用できます。含まれているアプリケーションは、販売見積または部品表に追加されません。

システムアクセサリを追加する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **アクセサリ** ページに移動します。
3. アクセサリのカテゴリを選択するか、**すべてのアクセサリ**を選択します。
アクセサリの名前を知っている場合は、検索フィールドで検索することができます。
4. アクセサリを追加するには、**追加**をクリックします。
5. 必要に応じて数量を調節します。

その他の項目を追加する

他のベンダーのアクセサリや、販売見積または部品表に必要なその他のアイテムを追加できます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **その他** ページに移動します。
3. アイテムの次の詳細を入力または選択します：**名称**、**ベンダー**、**製品番号**、**カテゴリ**、**数量**
4. **マイ・アイテムの追加**をクリックします。

アイテムを編集するには、編集する値を選択します。投稿を複製または削除するには、 をクリックしてドロップダウンメニューにアクセスします。

AXIS Site Designer

シナリオとスケジュールの管理

シナリオとスケジュールの管理

シナリオを使用して、プロジェクトのカメラのストレージと帯域幅の概算に必要な設定を定義します。

Axis SiteDesignerで新規プロジェクトを作成する場合、2つのデフォルトシナリオがあります。星印の付いたシナリオがデバイスに割り当てられます。新しいシナリオを作成したり、既存のシナリオを編集したり、必要に応じてデバイスに割り当てることができます。シナリオの詳細については、[22ページシナリオについて](#)を参照してください。

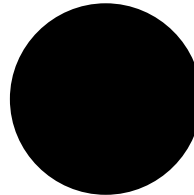
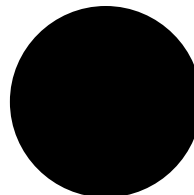
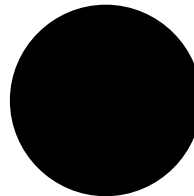
スケジュールを使用して、録画設定をさらに定義します。Axis Site Designerにはデフォルトのスケジュールが1つあり、必要に応じて新しいスケジュールを作成できます。

新しいシナリオを作成する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトのオーバービューページで、**シナリオの追加** をクリックします。
3. シナリオ名を追加します。
4. シーン、録画、Zipstream、ストレージの設定など、シナリオに合わせたデフォルト設定を調整します。
5. 完了したら、**閉じる** をクリックします。

シナリオの編集

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューページで、編集するシナリオをクリックします。



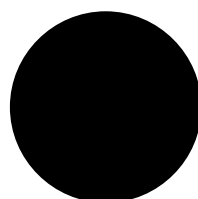
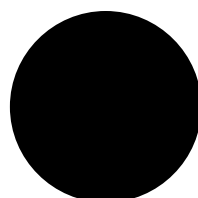
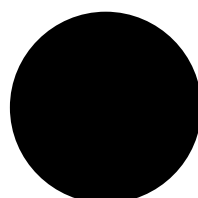
をクリックし、ドロップダウンメニューから**シナリオの編集**を選択することもできます。

3. 必要に応じて、シナリオ名または設定を編集します。
4. 完了したら、**閉じる**をクリックします。変更は自動的に保存されます。

新しいデフォルトシナリオを設定する

デフォルト設定したシナリオは、プロジェクトに追加する新規カメラごとに割り当てられます。

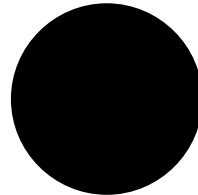
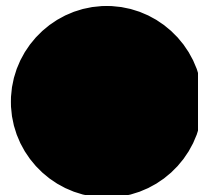
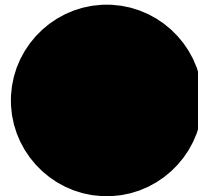
1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **プロジェクトオーバービュー**ページで、デフォルトとして設定するシナリオに移動します。
3. 星アイコンをクリックします。



をクリックし、ドロップダウンメニューから**デフォルトに設定**を選択することもできます。

シナリオをコピーする

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューページで、コピーするシナリオに移動します。



3. メニューをクリックし、**複製**を選択します。

同じ設定を持つ新しいシナリオが作成されます。

新しいスケジュールを作成する

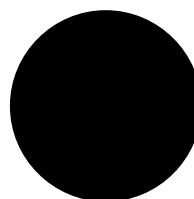
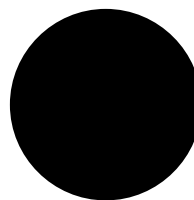
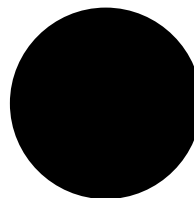
1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトのオーバービューページで、**スケジュールの追加**をクリックします。
3. 編集するスケジュールの名前をクリックします。
4. タイムライン上のアンカーポイントを動かして時間を調整します。
5. スケジュールがアクティブである日を指定します。
6. 完了したら、**閉じる**をクリックします。

スケジュールの編集

注

スケジュールを編集すると、そのスケジュールが使用されている全てのシナリオが更新されます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューページで、編集するスケジュールをクリックします。



をクリックし、ドロップダウンメニューから**スケジュールの編集**を選択することもできます。

3. 必要に応じてスケジュール名、時間、日数を編集します。
4. 完了したら、**閉じる**をクリックします。変更は自動的に保存されます。

AXIS Site Designer

シナリオとスケジュールの管理

Zipstreamとストレージ時間設定の定義

プロジェクトのZipstreamと保存時間の設定を定義する方法は2つあります。プロジェクト全体の設定を定義することも、個々のシナリオの設定を定義することもできます。

注

Zipstreamがどのように機能するかに関する詳細については、ホワイトペーパー *Axis Zipstream テクノロジー* をご覧ください。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューページに移動します。

プロジェクト設定の定義：

3. すべてのプロジェクトのZipstream設定を定義するには、**プロジェクトのZipstream 設定**のスライダーのアンカーポイントを移動します。
4. ストレージ時間を定義するには、**プロジェクトストレージ時間e**で日数を調整します。

シナリオ固有の設定を定義する：

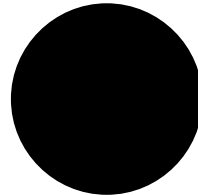
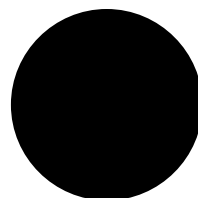
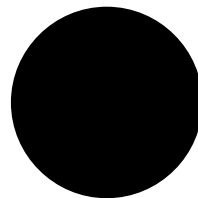
5. 編集するシナリオをクリックします。
6. **Zipstream** に移動し、**プロジェクト設定を使用する**をオフにします。
7. 強度、ダイナミックGOP、最小フレーム/秒など、必要なZipstream設定を選択します。
8. **ストレージ**に移動し、**プロジェクト設定を使用する**をオフにします。
9. ストレージタイムの日数を調整します。

シナリオまたはスケジュールを削除する

重要

カメラに割り当てられたシナリオ (デフォルトのシナリオを含む) は削除できません。また、シナリオで使用されているスケジュールは削除できません。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューページで、削除するシナリオまたはスケジュールを見つけます。



3. をクリックし、ドロップダウンメニューから**削除**をクリックします。

AXIS Site Designer

レポートとドキュメントの管理


レポートとドキュメントの管理

販売見積もりを作成する

セールス見積もりを使用すると、見積もりをエンドカスタマーに送信する前に、部品表を確認し、見積もり額を編集できます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. レポートページに移動します。

注


プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。

3. セールス見積もりのプレビューを取得するには、**セールス見積もり**タブをクリックします。
4. 見積価格、ロゴ、ヘッダー、有効期限などの詳細を追加します。
5. 送信時に表示される詳細を確認するには、**販売見積を表示**をクリックします。
6. 見積書を編集するには、**見積書の編集**をクリックします。
7. 完了したら、**プロジェクトをロック**をクリックします。
8. 見積をExcelファイルとしてダウンロードするには、**Excelへエクスポート**をクリックします。
9. 見積のコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、**印刷**をクリックします。

部品表を作成する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. レポートページに移動し、**部品表**タブをクリックします。

注

プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。

3. プロジェクト価格を登録するには、**プロジェクト価格のリクエスト**をクリックし、ダイアログの手順に従います。
4. 部品表をExcelファイルとしてダウンロードするには、**Excelへエクスポート**をクリックします。
5. 部品表のコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、**印刷**をクリックします。

電力および帯域幅レポートの作成

重要


レポートの生成電力、帯域幅、ストレージの値は、あくまでも概算です。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. レポートページに移動し、**電力と帯域幅**タブをクリックします。

AXIS Site Designer

レポートとドキュメントの管理

注

プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。


3. 電力と帯域幅のレポートをExcelファイルとしてダウンロードするには、**Excelへエクスポート**をクリックします。
4. 電力および帯域幅レポートのコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、**印刷**をクリックします。

設置レポートを作成する

インストールレポートには、インストールするデバイスの数、予測される必要なストレージと帯域幅、およびサイトに設定されたスケジュールの概要が記載されます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **レポート** ページに移動し、**設置レポート** タブをクリックします。

注

プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。


3. 設置担当者にメモを追加するには、**Notes**に入力します。
4. レポートにデバイスを表示する方法を変更するには、**デバイスごとに1ページ**を切り替えます。
5. レポートの並べ替え順序を変更するには、**並べ替え...** をクリックし、デバイスに付けた名前で並べ替えるか、モデル名で並べ替えるかを選択します。
6. 設置レポートのコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、**印刷** をクリックします。

システム提案書の作成

システム提案書には、デバイスの説明、フロアプラン、スケジュール、帯域幅、ストレージ、受電側装置の要件など、プロジェクトのオーバービュー全体が記載されています。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **レポート** ページに移動し、**システム提案書** タブをクリックします。

注

プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。

3. システム提案書のコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、**印刷** をクリックします。

ドキュメントのダウンロード

プロジェクトで使用するデバイスのデータシートは、簡単にダウンロードできます。Axis Architecture & Engineering (A&E) プログラムに参加している場合は、追加のドキュメントをダウンロードすることもできます。

データシートのダウンロード:

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。

AXIS Site Designer

レポートとドキュメントの管理

2. ドキュメントページに移動します。
3. 個々のデータシートをダウンロードするには、**ダウンロード**をクリックしてください。
4. 複数のデバイスのデータシートをダウンロードするには、対象のデバイスを選択するか、**すべて選択**にチェックマークを入れて、**選択したものをダウンロード**をクリックしてください。

追加書類のダウンロード（A&Eプログラム）：

1. **AXIS Specification Compiler** で、**仕様書のダウンロード**をクリックします。
2. ログインし、**A&E Media**に移動すると、利用可能なすべての文書が見つかります。

詳細情報

ローカルプロジェクト

Axis SiteDesignerでオフラインでのみ作業を行う場合は、ローカルプロジェクトを作成することができます。ローカルプロジェクトはブラウザのローカルストレージでのみ利用可能で、オンラインで同期化または保存されることはありません。参照データをクリアするとローカルプロジェクトが削除され、復元できないことに注意してください。作業内容を失わないために、ローカルプロジェクトをエクスポートして定期的にバックアップしてください。この場合、使用するデバイスとブラウザにアクセスできる人は誰でもプロジェクトを見ることができるということに注意する必要があります。このため、公共のコンピューターや共有のコンピューターでローカルプロジェクトを作成しないように注意してください。

ローカルプロジェクトを作成するには、Axis SiteDesignerを開き、 ローカルプロジェクトに移動します。

シナリオについて

AXIS Site Designerで、[Scenarios (シナリオ)] を使用してカメラのストレージと帯域幅の推定に必要な関連設定を定義します。以下の設定です。

- ・ シーンの設定
 - シーン内の動きの推定
 - シーンレベルの詳細
 - 場所と光条件
- ・ 録画の設定
 - 解像度、フレームレート、圧縮の設定
 - 動きをトリガーとした録画、連続録画、ライブビューのスケジュール

プロジェクト内のカメラは、常にシーンと録画の設定を指定する単一のシナリオに関連付けられています。プロジェクトに必要な数のシナリオを、すべて異なるシーンと録画の設定で定義できます。録画のスケジュール(録画がアクティブになる時期を決める)は、多くのシナリオで同じになる場合がありますが、シーンと録画の設定はシナリオに固有です。複数のカメラで同じシナリオを使用し、シナリオを変更せずにスケジュールなどのカメラ固有の変更を行うことができます。

例:

屋内シナリオ

- ・ **動きによるトリガー録画:** スケジュールは**常時**に設定されます
- ・ **連続録画:** スケジュールは**オフ(なし)**に設定されます。

カメラ1、2、3は屋内シナリオを使用します。ただし、カメラ2は受付エリアに設置されているため、常時録画をオンにしたいと考えています。[Devices (デバイス)] で、カメラ2を選択してシナリオを編集し、シナリオの設定に影響を与えずに連続録画設定を [Always (常時)] に調整します。

動きをトリガーとしたスケジュールを [Office hours (営業時間)] に設定する必要があるため、屋内シナリオを変更したいと考えています。そのため、[Project overview (プロジェクトの概要)] でシナリオを調整し、屋内シナリオを使用するすべてのカメラ(この場合、カメラ1、2、3)に変更が適用されるようにします。カメラ2は引き続き、連続録画にスケジュール設定 [Always (常時)] を使用します。

AXIS Site Designer

トラブルシューティング

トラブルシューティング

マップやフロアプランのアップロード時の問題	
PNG、JPG、JPEGファイル	ファイルサイズを確認してください。最大許容サイズは10 MBです。
PDFファイル	アップロード中、PDFファイルはPNG形式に変換されます。PDFの用紙サイズが大きい場合、結果として得られるPNGはフロアプランの10 MB制限、さらには2 GBのストレージオータを超える可能性があります。これを回避するには、PDFをビューアーで開き、A4やA3などの小さい用紙サイズを使用して新しいPDFに印刷します。

プロジェクト読み込み時の問題	
プロジェクトの読み込みに時間がかかりすぎる	以下のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none">・ ネットワークを確認してください。・ 大規模なプロジェクトが多数ある場合は、すぐにアクセスする必要のないプロジェクトをアーカイブします。詳細については、9 ページプロジェクトをアーカイブするを参照してください。

